日本と御前崎市の歴史の流れを比べてみよう。

江戸時代

西国三十三観音菩薩が造られる（一七〇五）

高野山より遍照院に十一面観音菩薩立像が移される（一六七三～一六八〇）

御前埼灯台のはじまりとなる「見尾火燈明堂」が建てられる（一六三五）

「定池新田置目事」出される（一六〇七）

十一面観音菩薩立像

P13参照

明治時代

御前崎沖で遭難した薩摩藩の御用船を大澤権右衛門親子が救出

サツマイモをもらう（一七六六）

池新田村で砂丘の開墾がはじまる

栗林正蔵が芋切り干しをつくる

我が国最初の回転式の一等閃光レンズを使用した灯台が御前崎に完成（一八七四）

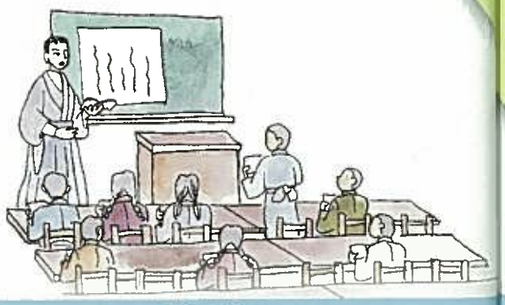
完成した灯台

P15参照

横浜で開かれたお茶の大会で丸尾文六のお茶が一位を獲得（一八七九）

横舟埋蔵銭発見（一九〇二）

矢村宣昭正福寺門前に矢村義塾を開く（一九〇〇）



平成時代

御前崎町と浜岡町が合併御前崎市誕生（二〇〇四）

御前崎のウミガメおよびその産卵地が国指定天然記念物となる（一九八〇）

軽便鉄道駿遠線廃止（一九六四）

P26参照

軽便鉄道駿遠線「池新田駅」

昭和時代

白羽の風蝕礫が国指定天然記念物になる（一九四三）

遠江射場で旧日本軍の試射訓練が行われる

軽便鉄道「オット」

P40参照

大正時代

宮本重吉らによる砂丘の開墾

下村勝次郎が洋式動力船をつくる（一九〇七）

軽便鉄道「オット」（1930年代）

江戸時代	明治時代	大正時代	昭和時代	平成時代
1600	1700	1800	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000

- 鎖国が完成する（一六三九）
- 参勤交代制度が定められる（一六三五）
- 東海道の一里塚が整備される（一六〇四）
- 徳川家康が江戸幕府を開く（一六〇三）
- 各地で新田の開発が行われる
- 享保の改革が始まる（一七一六）
- 寛政の改革が始まる（一七八七）
- 天保の改革が始まる（一八四一）
- ペリーが浦賀に来る（一八五三）
- 明治維新の改革が始まる（一八六八）
- 廃藩置県（一八七一）
- 学制が発布される（一八七二）
- 新橋・横浜間に鉄道が開通する（一八七二）
- 大日本帝国憲法が発布される（一八八九）
- 日清戦争が起こる（一八九四）
- 日露戦争が起こる（一九〇四）
- 第一次世界大戦が起こる（一九一四）
- 関東大震災が起こる（一九二三）
- 満州事変が起こる（一九三一）
- 日中戦争が起こる（一九三七）
- 太平洋戦争が起こる（一九四一）
- 日本国憲法が公布される（一九四六）
- 太平洋戦争が終わる（一九四五）
- サンフランシスコ平和条約が結ばれる（一九五一）
- 東京オリンピックが開催される（一九六四）
- 東海道新幹線が開業する（一九六四）
- 東名高速道路が開通する（一九六九）
- 大阪で万国博覧会が開催される（一九七〇）
- 冬季オリンピック札幌大会が開催される（一九七二）
- 阪神・淡路大震災が発生する（一九九五）
- 冬季オリンピック長野大会が開かれる（一九九八）
- サッカーのワールドカップ大会が日韓共同で開かれる（二〇〇二）